



AJU 愛実

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

第28号 会報

定価：一部100円

「内なる暴力と向き合う」／理事長 島しづ子・・・・・・・・P1
 事務より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
 大地の家のページ・・・・・・・・・・・・・・・・P3～4
 紙風船のページ・・・・・・・・・・・・・・・・P5～7
 「みんなそれぞれ。大丈夫。気にすんな。」／南 寿樹・P8
 定期総会資料・・・・・・・・・・・・・・・・P9～10
 「6月25日の夕餼(ゆうげ)」／島田恵子・・・・・・・・P11
 寄付者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・P12



大地の家
小牧自衛隊基地見学



紙風船
荒子川公園お花見

内なる暴力と向き合う

理事長 島 しづ子

現在の「愛実の会」のパンフレットは 2007 年の特定非営利法人愛実の会の設立と共に作成したものです。そこには愛実の会の活動内容として、第一に「1対1（メンバー1名につき1名のアシスタント）原則による介護」とあります。

ひとりひとりを丁寧に見守り、ニーズに応え、ゆっくりとお世話ができると考えたからです。しかし、見守るアシスタントの力量によって、その1対1というメリットが妨げになる場合もあります。もし、威圧的なアシスタントが担当だったら、複数のメンバーとアシスタントの中にいる方がいいに決まっています。

もう一つ「1対1」の問題について考えさせられることがありました。「愛実の会」の昔からの応援者である方がこう言われたのです。「1対1がいいとは思えないわ。介護者が暴力的だったなら、むしろ、複数の方がいいわ」と。この方は障がい者の支援を長くして、今は親戚の老人のお世話を単独でしておられます。その日々の中で自分の暴力性に向き合ってきた中で言われた言葉です。その方がやさしい人柄であることは言うまでもありません。私もメンバーと暮らした日々には体験したことは、三角関係の良さでした。1対1で向き合っていると、互いの主張がぶつかり、二進も三進も行かなくなります。そこにもう一人がいて、二人の中に風を吹き込んでくれたり、違った考えを示してくれたりして「沈黙の睨み合い」が解決します。あるいは、自分の担当の時間が終わり、力尽きた感じで交代し、静かに食事をしたり、自分の時間を持つと、また元気になれます。また担当に入ることが待ち遠しくなります。

しかし、1対1での介護を休みなくしなくてはならない時、どうしたら自分の中の暴力を行使しないで済むでしょうか。他の施設で働く若い友人が「島さん、私はこの仕事向いていないと思う。仕事をしていると無性に腹が立ってしまう。」と言いました。「私も、いつも切れてる」って言ったら大笑い。こんな日々には思い出すのは母のことです。私が娘の介護をしていた日々、時々母が助けに来てくれました。帰宅して母の顔を見たときに猛烈に腹が立ちました。母に当たり散らしました。もう80歳にもなっていた母に可哀そうなことをしたものです。私の怒りは母のせいではなく、思うようにならない日々への怒りでした。安心な相手である母に向かって出してしまったのです。私たちは暴力的な存在であり、この暴力の問題をいかに解決していくかが課題です。そんな日々の間に自宅に派遣されていたヘルパーさんが、「島さん、どこか遊びに行ったらっしょい」と言ってくれた言葉と顔を思い出します。介護者には周囲の思いやりに満ちた言葉や具体的な助けが必要だと思います。



<コンサート フルートとチェロの調べ>

6月3日（水）NPO法人愛実の会主催でフルート&チェロコンサートが開催されました。ゲストは、国際コンクールで数々の賞を得て、世界中のオーケストラや音楽祭でも大活躍されている古賀敦子様（フルート）とゲオルギー・ロマコフ様（チェロ）です。お二人は2011年からデュオ活動を始め、この度ご縁があつて愛実の会へ訪問して下さることになりました。

きれいな衣装を身にまとったお二人が登場すると、会場はキリッと緊張ムードに変わりました。二人による素敵な演奏が始まり、またそれぞれソロの迫力ある音色にも、メンバー達はうっとりとして静かに聴き入ってみえました。

このような素晴らしい演奏を、こんなにも近くで聴かせていただき、身体中で感じる事ができ、とても嬉しく思います。愛実の会のために特別に演奏をしていただいた事、心より感謝いたします。素敵な時間をありがとうございました。



<法人全体アシスタント研修会報告>

4月29日、アシスタント・ドライバー・給食・事務を含めた総勢28名で、「法人の理念の深化のために」を目標に研修会を行いました。お願いしていた講師が都合により来れなくなり、急きょ講師として島理事長と戸田理事が講演とワークショップを担当しました。講演は「共に生きるという課題—個性の尊重とは 価値観の違う人と 他者を知ること—」。島理事長の体験から嫌な気持ちを持ったことの告白を交えながらのお話でした。その後、グループで「わかちあい」（言いつばなしで話す、お互い議論しない、聴いたことは秘密厳守）により、ふだんゆっくりと話を聴きあうことのないアシスタント同士での時間を持ちました。

午後からは戸田理事のコミュニケーションゲーム。グループでお互いに話し合いながら多数決ではなくコンセンサス（合意形成）による問題解決を体験しました。強く言える人の意見だけではなく、参加者1人1人が意見を言うことにより達成するコンセンサスは時間がかかりますが、参加者それぞれが尊重される経験でした。

続いて2人1組になり、お互いが苦手とする介助を克服するために、ティータイムとトイレ介助をし合いました。「ケーキを食べやすくするためにお湯でふやかすと美味しくくない」「このメンバーはこういう風に介助するとお互い身体に負担が少ない」などいろんな声が聞こえました。その後、部署別に分かれて話し合い、最後に紙風船と大地の家の今年1年間の目標発表を行い、研修会を終えました。

盛りだくさんな内容の1日研修でしたが、愛実の会の理念に沿った内容で、とても充実した研修となったと思います。この日の研修とアシスタント同士の交流を今後の日常活動に活かせるようにしていきたいです。



大地の家のページ

(P 3~4)

今年も暑い夏がやってきました。みなさまもお変わりなくお過ごしでしょうか？

大地のメンバー＆アシスタントは今年の夏も元気いっぱいです！

大地の家では4月、5月に「ミステリーツアー」に行ってきました。

「ミステリーツアー」とは、少人数（一度にメンバー・アシスタント3名ずつくらい）の外出で、行く先も、該当するメンバーとそのご家族だけにお知らせするちょっと謎めいたお出かけです。

どのお出かけも天候に左右されることもなく、とっても楽しかったです（*^_^*）

今回はそんなミステリーツアーの詳細と、6月に行った小牧航空自衛隊基地の見学についてお届けします♪

小牧航空自衛隊基地見学

6月16日（月）。心配されていた天気もなんのその、晴天の中、愛知県小牧市にある航空自衛隊基地の見学に行ってきました。

ドラマ「空飛ぶ広報室」でも有名になった航空自衛隊ですが、皆さんご存知ですか？

・・・とその前に、まずは腹ごしらえ。途中、エアポートウォークに立ち寄りお昼ご飯を食べました。名古屋空港旧国際線ターミナルビルを再整備して建てられたショッピングモールということもあって、内装もどこか空港を思わせるような雰囲気です。

中でも驚きだったのは、全ての多目的トイレに大人用のベッドが備え付けられていたことです。バリアフリーにも配慮されており、メンバーもアシスタントも快適に過ごす事ができました。

そしていよいよ本日のメイン、航空自衛隊基地の見学です。基地の門前には自衛隊員の方が立っていて、少しドキドキ。無事通り抜けると、基地見学の始まりです。基地内はとても広く、各見学場所も全てが車での移動でした。愛実の会の車の助手席には自衛隊員の方が同乗してくださり、車内はいつもより少し緊張モード。車に乗りながら、丁寧に基地の説明をしてくださりました。

まず最初に訪れたのは、消防車のある建物です。飛行機事故による火災を想定された消防車は、一般的なものと見た目も少し違いました。そしてなんと、見学にきた愛実の会のメンバーたちの為に、特別に実際の放水している所を見せていただきました！1分間で1万リットルの水が放水されるシーンは圧巻の一言。メンバーもアシスタントも迫りに押しされながら見つめていました。

他にも、実際に人命救助などの場面で使用されている飛行機やヘリコプターを見せて頂いたり、資料館では飛行機のコックピット（模型）に試乗してパイロット気分を味わったりしました。

行く先々で自衛官の方が詳しくお話しを下さり、メンバーも真剣に耳を傾けていました。今回の見学では、車椅子のメンバーたちの為に見学コースを考えて下さったり、提案を下さったりと沢山のご配慮を頂き実現することができました。働く自衛官の格好良さにも触れることができ、大満足のお出かけでした！



ミステリーツアー

第一弾 福井ツアー



なんと名古屋から福井県へ！大地の家ならではの発想です。「恐竜博物館」と「東尋坊」の2大観光名所を満喫してきました。恐竜博物館ではリアルに再現された恐竜達が所狭しと展示されていたり、動いたり！メンバー達は怖がるどころか笑い声も上がって楽しい博物館見学でした。断崖絶壁「東尋坊」ではあまりの景色の良さ（怖さ？）にメンバーのみならずアシスタントも思わず吸い込まれそう……。波はとっても穏やかで、東尋坊では珍しいくらい海底も透き通っていました。

第二弾 日本平ツアー



高台にある日本平ホテルから見える駿河湾はまさに絶景！そこで頂いたアフタヌーンティーは少し緊張したけれど、メンバーもアシスタントも特別な気分で優雅に過ごす事ができました。

最近、世界文化遺産に認定された「三保の松原」も想像以上に景色が良く、足場の悪い砂地もなんのその、車椅子で海岸へ。普段の硬い路面とは違う感触にメンバーも興奮気味でした。海をバックに記念撮影もバッチリ！



第三弾 スカイツアー



中部国際空港へ「空の旅」に行ってきました。といっても飛行機に乗るわけではなく、セントレア内の散策です。スカイデッキに出ると、青空が一面に広がっていて、気分爽快！ターミナルツアーにも参加して、普段入ることの出来ない場所や、あまり知られていない穴場スポットなどを案内してもらい、新たな発見が沢山ありました。



第四弾 まかいツアー



富士山からもほど近い、静岡県にある「まかいの牧場」では、動物たちとふれあったり、トラクターバスに乗った、りハンモックに揺られたりと牧場気分を満喫！予想のつかない動きをする動物たちに、メンバーはおそろおそろエサやりをしました。

雲の切れ間から見える富士山はなんだか幻想的で、少し特別な気持ちになりました。



日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>

紙風船のページ

(P5~8)

2014年度のテーマが決まりました！

1. 笑顔を大切に！ 2. メリハリをもとう！ 3. もっと知ってもらおう！

人形劇はもちろん、日頃から笑顔を絶やさない紙風船！笑顔のパワーで心も身体も元気に過ごしていけることを大切にします。また生活面や人形劇の表現など、様々な視点においても「メリハリ」をつける事で、団結し素敵な人形劇を送れるよう頑張ります！そして、紙風船の知名度アップを目指してどんとんと宣伝し外へ出て人形劇をしていきます！

皆さん2014年度も「人形劇団紙風船」をどうぞよろしくお願いします。

チャリティーウォークソン 米国商工会議所主催

昨年に引き続き、長久手モリコロパークで開催されました。

例年ウォークソンといえば、パーク内をみんなで歩いてイベントを盛りあげようという意気込みで参加していましたが、今回はなんと人形劇での参加をさせていただける事になりました。参加者の中には外国の方も多いため、英訳のパンフレットを準備したり、見に来てくれた方とどの様に交流しようかと、プログラムもみんなで計画して望みました。

当日会場ではB級グルメの販売ブースがあったり、ステージでは音楽演奏などで盛り上がりを見せる中、私たちは見に行きたい気持ちと戦いながら(笑)人形劇のスタンバイ。色々なハプニングもありハラハラドキドキの一場面もありましたが、全員で協力し合いながら、一日に3回の公演を行えたことはとても貴重な体験となりました。何より多くのボランティアさんお手伝いしてくれたり、懐かしいアシスタントが見に来てくれた事が、メンバーにとってもとても嬉しい思い出の一つとなった様です。また、来年もチャリティーウォークソンに参加できたらと思います！



今回主催者側より、ウォークソンオリジナル缶バッジのオーダーを受け、250個納品しました！皆さんのオリジナル缶バッジ注文受付まーす！

グッズ販売も頑張りました♪



レクリエーション in 日本昭和村

何回目になるでしょうか。日本昭和村のレク計画。。。1度目は雨、2度目も雨、もう諦めようかと思いましたが、せっかくなので行きたい！そう思って3度目の計画に挑戦しました！そしてようやく私たちの思いが届き、絶好のレク日和♪当日はまだ5月だというのに汗ばむほどの陽気でした。

岐阜県美濃加茂市にある日本昭和村は、自然豊かな敷地に、昭和の風情を味わう建物やお店が立ち並び、とても興味深い所でした。

まずメンバーたちは、ピザ作り、ソバ打ち、万華鏡づくり、アロマキャンドルづくりなどを体験！みんな初めての経験でとても楽しむことができたようです。そのあとはグループごとでおいしいご飯を食べたり、お買い物をしたりと園内を満喫しました。また今回イベント期間中でお笑い芸人鉄拳さんのパラパラ漫画がたくさん展示してあり、テレビで見る感動を生で味わう事ができ、とても印象深く思い出に残っています。

念願叶ってやっとの事でいけた日本昭和村は、待ったかいもありとても大満足だった様です。「また行きたいなあ〜」その言葉を聴いてアシスタントも計画して良かった♪とうれしい気持ちになりました。



おばら先生講座開催

人形劇の稽古をつけていただくことの多い講座ですが、5月は「人形劇とは？人形ってなんだろう？」をテーマに人形ができた由来、またそこから人形劇に発展していった歴史を詳しくお話しいただきました。そして古い貴重な人形を実際に見せて下さり、様々な手法を凝らした人形のからくりを体験させていただきました。

おばら先生の講座を通して、自分たちが人形劇に挑戦している事の素晴らしさ、文化として発想豊かな子どもたちに、もっとたくさん見てもらいたいそんな思いにもなりました。

おばら先生はこう言います。「今、自分たちが何を伝えたいか、その気持ちを明確に持つことが大事」紙風船ならではの、私たちにしかできない人形劇の表現をこれからも追い求めて、発信し続ける人形劇団でいたい！そう感じる事のできる、大切な講座の時間となりました。



紙風船夢づくり基金ご協力のお願い

いつも紙風船夢づくり基金へご協力いただきありがとうございます。今回紙風船では8月8日～9日と長野県飯田市で開催されます「いいだ人形劇フェスタ」へ7年ぶりに参加することとなりました。今回は宿泊を伴う公演旅行となる為、フェスタに参加するにあたり、移動や宿泊、参加費等様々な費用が必要となります。久しぶりの飯田公演を成功させる為頑張っていきます！皆さま応援・ご協力よろしくお願ひします。

【公演だよ！】

- 第180回 2014年5月18日(土)
チャリティーウォークソン「ポンタとたっくん」「ポーちゃん」
- 第181回 2014年6月3日(火)
レストヴィラ熱田(有料老人ホーム)「かめさんのありがとう」
- 第182回 2014年7月1日(火)
大府の郷(特別養護老人ホーム)「かめさんのありがとう」ボランティア公演



新年度を迎え、紙風船の人形劇もスタート！今年度1回目の公演は、紙風船にて新メンバーさん歓迎公演、「ポーちゃん」を披露しました。

紙風船では今年度より月1回、福祉施設・病院などで平日ボランティア公演に取り組んでいます。

今回レストヴィラでの公演が今年度初めてのボランティア公演でした。劇を見た利用者の方から感激したなど嬉しい声をいただき、メンバーみんなも嬉しく感じられた公演でした。

これから他の施設でも公演の予定が入っています。この活動を通し、いろんな方との出会いを大切に、次の公演につなげていきたいと思えます。

また先日、プロのカメラマンの方がみえ、紙風船の新しいプロモーションビデオの撮影を行いました。皆、少し緊張しながらも真剣に人形劇に取り組む姿がおさめられています。このプロモを持ってまた宣伝へ行き、たくさんの方にアピールをしていきたいです。そして、見てくださった方に元気を届けられる人形劇が出来るように頑張っていきたいです。



紙風船では、公演依頼を募集しています！

見てくれるお客さんに笑顔が生まれる楽しい人形劇ばかりです！一緒にステキな時間を過ごしませんか？福祉施設や病院・地域でのイベント・学校の福祉授業など、どんなイベントでも大歓迎です！興味のある方はぜひ一度ご連絡ください☆



※人形劇フェスタに関しては何れもワッペン購入が必要となります。各フェスタHPまたは紙風船にお問い合わせ下さい。

公演予定

- ★ 7月26日(土) 夏休み ふれあい公演「ポーちゃん」
デイセンター愛実内紙風船部屋にて自主公演 入場無料
- ・ 8月7日(木) 海外研修&留学生対象 「ポンタとたっくん」
- ★ 8月8日(金) いいだ人形劇フェスタ「ポーちゃん」
- ★ 8月23日(土) 北なごやパペットフェスタ「ぼくたちにできること」
- ・ 9月15日(月) 御器所教会～障害者と教会～「ポンタとたっくん」
- ・ 9月26日(金) あつたの森 「ぼくたちにできること」ボランティア公演
- ★ 10月12日(日) ひまわりホールパペットフェスティバル
- ・ 10月15日(水) あゆちの郷(老人保健施設)「ポンタとたっくん」ボランティア公演
- ・ 11月11日(土) 宮西保育園「かめさんのありがとう」

★…一般公演 詳細はHPまで 見に来てください\(^o^)/

みんなそれぞれ。大丈夫。気にすんな。

南 寿 樹

5月に体力テストがあった。毎年悩むのは、運動制限はないけれども心の問題で参加できない広汎性発達障害の子ども達である。

「うまくできなかつたらどうしよう」「人に笑われたらどうしよう」「ともだちに負けたらどうしよう」・・・尽きない不安に、心だけでなく身体もがちがちに硬くなる。

私は無理に参加させようとはしない。「無理しなくてもいいよ」と声をかける。なぜか——自分の体験からその不安な気持ちが分かる気がするからだ。

私は、小学5年生まで泳げなかった。陸上種目や鉄棒が得意だったが故にそのプライドが「泳げない自分」を認めたくなかった。小学校4年生の夏休み。親戚が集まった時に「寿樹ちゃんは、どのくらい泳げるの？」と聞かれ、つい「50mくらいかな。クロールで」と答えてしまった。(本当は5mも泳げないのに…) だから「やっぱりすごいね。じゃあ、みんなで市民プールへ行こう」と誘われた時は、あせった。(嘘がばれる。無様な姿をさらしたくない) とっさに「おなかの調子が悪いのでやめとく」と断った。その後、何度も誘われたが、その都度「寒気がする」「体調が悪い」などと言い訳を考えてすべて断った。苦しかった。そんな自分が嫌だった。でもどうしようもなかった。——大府特別支援学校で体力テストにたじろいでいる子はあの時の自分そのものだ。

ところが、今年に限っては全員が参加できただけでなく友だちを応援する姿があった。その要因に私のアドバイスとそれが心に届いた鉄夫の変化があるのではと考える。小学4年生の鉄夫は、小柄なため記録は伸びないが短距離走とボール投げが得意でプライドを持っている。人間関係がうまく作れないために「へへん、勝ったね」「デブだと足遅いね」などと人の気持ちを逆なでする言葉を悪気なく発する。ところがその鉄夫がムードメーカーになって「優紀君、がんばって」「康太君もがんばれ」と拍手しながら応援したのだ。(へえ、あの鉄夫が…別人のようだ) 誰もが思ったに違いない。

「なぜ鉄夫は変わった？」もしかしたら私の言ったひと言が心に届いたのかもしれない。鉄夫は苦手な持久走(シャトルラン)の前に急に無口になっていた。そこで私は「人間にはいろんなタイプがいて、赤い筋肉の多い短距離走が得意な人と白い筋肉が多い長距離走の得意な人がいるんだって。だから記録が悪くても大丈夫。気にすんな」と言った。

シャトルランは、約10秒間に20メートルの距離を走るペースで体育館の中をどれだけ往復できるかを測定する。案の定、早々に脱落した鉄夫だったが、まだ走っている友だちを応援した。その声は大きく、まわりの子どもや指導者を巻き込み、拍手や応援の声が体育館中に響いた。「応援されると元気になる。きっと自分の応援も友だちを元気づけるはず」そんな共感関係がみんなを包んだように感じ、胸が熱くなった。

今だからこそ、あの小学4年生時の苦しみに逃げ出せない自分に言ってあげたい。「みんなそれぞれ。大丈夫。気にすんな」「そして友だちをつくり、大切にしろよ」

2013 年度 法人事業報告

愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しながらより良いサポートを目指し下記の3つの事業に取り組んでいます。

- ・障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障がい福祉サービス事業＝生活介護事業「障がい者デイセンター愛実」&居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
- ・障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業＝移動支援事業(ガイドヘルプ) ※2013年度は実績なし
- ・既存の法律の範囲で対応することが困難なケースとして、利用者の生活上必要なニーズ及び緊急時に対応する為の有料サービスとしての法人独自サービス事業 (2013年度＝31件)

生活介護では、31名のメンバーが大地の家・愛実友だちの家・紙風船の3部門に分かれてそれぞれの特色ある活動を楽しみながら1年を無事過ごすことが出来ました。詳細については随時、会報・ホームページ・ブログ等にて報告させて戴いているとおります。

また、昨年11月からは、大地の家と愛実ともだちの家が合同の開催になりましたが、家庭的な雰囲気を大切にしながらメンバー一人ひとりが安心できる場を目指しています。

居宅介護事業につきましては、他事業所への協力もあり実績は減っていますが今までの生活を維持継続できるようサービスの提供に心がけてきました。一方、緊急時の対応の必要性が年々多くなっています。ご家族の方の高齢化に伴い今後近い将来への対応をみんなで考えていくことが私たちの大きな課題となっています。

★2013年度総会報告 (正会員数49名：2014年5月27日現在)

議案Ⅰ 2013年度事業報告(決算及び監査報告)

- ① 法人概況 ② 生活介護(大地の家・愛実友だちの家・紙風船)
- ③ 居宅介護 ④各管理部門(健康・給食・車両・防火防災・ホームページ・会報)

議案Ⅱ 2014年度事業計画及び予算案

2013年度の会計は、当初予算より約400万減の決算となりましたが、収支バランスを取り、借入金(600万)も予定通り返済することが出来ました。会計監査を受け右の通りご報告させていただきます。尚、総会議案はすべて滞りなく審議され承認されました。

2013年度 NPO法人愛実の会 決算報告 (活動計算書)

平成25年4月1日～平成26年3月31日まで

科 目	金 額		単位:円
I 経常収益			
1. 正会員費	141,000	141,000	
2. 寄附金	4,190,352	4,190,352	
3. 事業収益			
1)生活介護事業収益	107,522,932		
生活介護事業	104,231,504		
食事収入	2,617,110		
就労支援事業収入	674,318		
2)居宅介護事業収益	4,318,675		
3)独自サービス事業収益	66,750	111,908,357	
4. その他収益			
受取利息	5,920		
雑収益	656,136	662,056	
経常収益計			116,901,765
II 経常費用			
1. 事業費			
1)人件費	73,585,022		
2)その他経費			
諸謝金	936,497		
印刷製本費	102,816		
会議費	185,632		
旅費交通費	2,748,133		
通信運搬費	377,277		
消耗品費	1,128,118		
水道光熱費	2,049,227		
賃借料	6,156,585		
減価償却費	4,239,700		
保険料	1,644,461		
事務用品費	908,124		
保健衛生費	603,639		
リース料	1,761,480		
給食費	2,458,990		
教養娯楽費	995,309		
就労支援事業費	591,000		
その他事業費	8,091,468		
雑費	12,668		
その他経費計	34,991,124		
事業費計		108,576,146	
2. 管理費			
1)人件費	2,600,000		
2)その他経費	841,734		
管理費計		3,441,734	
経常費用計			112,017,880
当期経常増減額			4,883,885
法人税、住民税及び事業税			68,500
当期正味財産増減額			4,815,385
前期繰越正味財産額			40,802,704
次期繰越正味財産額			45,618,089

6月25日の夕餉(ゆうげ) 理事 島田 恵子

賃貸住宅の一郭たねの家で、夕方5時から翌朝9時半まで、Sさん、Kさん、Tさん、私の4人が共に過します。私にとっては一ヶ月振りです。今夜は私が夕食づくり。細かく切った野菜サラダ、鶏肉の照り焼き、味噌汁、そして‘スーパーバロー’の定番コロッケがメニュー。Sさんは自分の食器を棚からテーブルに置き、Tさんと一緒に配膳をします。6時半、Kさんの「オーッ」で、食事の歌、そしてSさんの両手を合わせて、「イイね、ね、、、たーだきマス」が合図。Sさんが「オーしいね」と何度も言って食べる時は早く終わります。時に何も言わない時は、食も進みません。今夜は「オーしいね」と繰り返しながら、ゆっくりでした。最後はミルクコーヒー。Kさんはこれがあるかどうかで機嫌が違い、飲めることを確認しないと食も進みません。でも殆どの食事は美味しく食べてくれます。TさんはKさんへの食事介助をしながら、合間に自分の食事もします。他の人達と一緒に食べるのは喜びですが、介助をしながらだと、時には食欲が無くなり、何を食べたのか覚えがないということもあります。でもTさんは私への気遣いか、「美味しい」と数回言って食べてくれました。小1時間でSさんの両手合わせと、「イイーッ、アーダー???’で終わります。次は歯磨き。4ヶ月程前、100円ショップで買った大きな鏡を前にSさんに口を開けてもらい、磨くのを手伝おうとするのですが、なかなか鏡を見てくれません。10回目位の今夜は、私自身もSさんの歯を鏡の中に見ることができました。いつか、Sさんに鏡の中の自分の歯をみながら磨いてほしいと願っています。

トイレに行き、またテーブルに戻ります。Sさんが歌集から選んだ‘喜ぶ人と共に’を皆で歌い、本‘共同体’のSさんが開いたページの一説をTさんが読みます。Kさんの好きな‘サント、サント、サント’を歌い、その後、其々、順番に今日あったこと、家族、出会った人達のこと、辛いこと、を言葉に出します。Sさんは「痛い、痛い、、、」と今日経験した痛みについて、そして「(おい) シイね」と食事のこと、を思い出すようで、繰り返します。「今日は自分の言葉で」と促された時、Kさんはテーブルに着く一人一人を確認するようにゆっくり視線を向けながら、時々「ウーッ、アーッ」と3分程続ける。他の人に移って良いか聞くと、「オーィ」と一生懸命声を出そうと口を大きく開け発してくれます。Kさんの思っていることはこんなことではないかとKさんの視線を見ながらTさんがTさんの言葉で表現する時もあります。皆が、今気付いて欲しいことが言葉に出されたら、Tさんの定番‘ガリラヤの風薫る丘で’を歌い、‘感謝の祈り’を皆で唱えます。Kさんが腕を一生懸命伸ばしてベルを取り、鳴らして終わる筈でしたが、今夜はSさんがベルをKさんの指に絡ませ一緒に大きく振りベルを鳴らして終わりました。Sさんは突然Kさんの首に自分の片腕を巻き抱きしめる格好で、キスをしました。仲良しである確認をしているのでしょうか?Kさんは黙ってSさんを眺め、受け入れていました。

其々の部屋に行き、就寝。背景、母語、年齢が違う私達4人はこうして一つの家に呼ばれて共に夜を過ごします。(毎月3~5日程愛実の会訪問してくださっています)

【NPO愛実の会 寄付者名 (順不同・敬称略)

2014年3月8日～6月30日】

★寄付金

杉本 道代 加藤 和子 宮崎 正和 阿部 健二 塚本 千寿 山崎 京子 木村 純
 水野 享好 二村 明美 中谷 塩子 稲田 喜水 堀尾 勇夫 草野 幸 藤村 洋
 加藤由美子 安藤眞知子 島 しづ子 (複数回)

刈谷教会CS 名古屋新生教会教会学校 名古屋中央教会
 栄冠こども園 京都みぎわキリスト教会 金城学院

★紙風船

一條 敬子 木村 圭吾 中森 由哉 (複数回) 五十嵐和夫 木村由美子 水島トミ子
 戸田 真二

★物品寄付 鈴木 顕造

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」受付分 (順不同・敬称略)】

亀田 隆子 中森 由哉 喫茶アミ 吉谷 尚之 (複数回)

* 移転改装費

借入金残額2400万円 年600万円×4年で完済予定です。自助努力しておりますがどうぞご協力ください。移転して4年が経ちました。広い空間でそれぞれのデイが特色を生かしながら、笑顔いっぱい楽しく毎日を過ごしています。

* マンツーマン体制の充実を目指して

愛実の会の大きな特色として、メンバーとアシスタントが1対1で向き合い、寄り添いながら手厚いケアと充実した活動を実践していることが挙げられます。これは重度の障がいを持つひとりひとりのメンバーを大切に、心の声を聴き共に歩んでいくために必要と考えます。

* 人形劇団紙風船の夢づくりのために

今年もたくさんの公演を行わせていただいています。8月には2つの人形劇フェスティバルに参加します。今後も人形劇の活動が豊かに継続していけるよう願っています。

◎振込用紙を同封いたします。寄付の際にご利用ください。

夢づくりにご寄付の場合はお手数ですが通信欄に「夢づくり」とご記入ください。
 (記載がない場合は「寄付金」として取り扱わせていただきます。)

【ボランティアで協力いただいた方】

ルーテル復活教会の皆様（給食ボランティア） 阿部 記子様（紙風船ボランティア）
 石田 典子様（紙風船） 南 寿樹様（紙風船） 渡辺 志織様（紙風船）
 綿貴 虹子様（紙風船） 森 重治様（紙風船） 朝倉 知里様（ピアノ）
 中山 静雄様（ピアノ） 高木 章一様（ピアノ、紙風船）

ご協力をありがとうございます

□小島みち子

6月をもちまして退職されました。お働きに感謝し、今後のご活躍をお祈りいたします。

【新人・パートアシスタント】

□河田 啓善

4月からアルバイトとして働きはじめました。20歳の看護学生です。
 愛実の会で様々な経験をすることで将来の役に立つと思いこの仕事を志望しました。

分からないことだらけで、教えてもらうことが多いかと思いますが、若さを生かして多くを吸収していきたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）
- 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://www.aminokai.com

【「NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

1□1,000円 何□でも結構です

- ◆ 寄付金（賛助会費・土地建物取得費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形制作費、公演活動に関する費用とする）